

■5月22日

日航、配当定款改定、全外国人株主へ配当

日航は21日、2014年3月期決算からすべての外国人株主に配当できるように定款を変えると発表した。6月19日開催の株主総会に提案する。公的支援を経て再建した同社が外国人に配当することに一部では批判もある。同社は「株主への利益還元を最重要項目と考えており、日本人・外国人の区別なく平等に配当すべきだと考えている」としている。日経が報じた。

航空法の規定では外国人株主は日本の航空会社の議決権の3分の1以上を持ってない。同社はこれに基づき超過部分については配当を実施する際の基準となる株主名簿への記載を拒否している。今回の変更により、名簿に記載のない株主にも配当できるようになる。議決権は引き続き制限を受ける。13年3月末の外国人株主の持ち株比率は約4割とみられる。

(日経)5/21

http://www.nikkei.com/markets/kigyo/gyoseki.aspx?g=DGXNASGD21042_21052013DT0000 (->http://www.nikkei.com/markets/kigyo/gyoseki.aspx?g=DGXNASGD21042_21052013DT0000)

HondaJet、初飛行に成功

ホンダ エアクラフト カンパニー(HACI)20日、スイスのジュネーブで開催されているビジネス航空ショーの「2013ヨーロッパ ビジネス アビエーション コンベンション アンド エキシビション(EBACE2013)」において、小型ビジネスジェット機HondaJetの試験用5号機が初飛行に成功したと発表した。

今回の60分におよぶ飛行試験では、低速時および高速時の操縦性チェックのほか、アビオニクス(航空機に搭載される航法用電子システム)および各種システムのチェックが行われた。

(産経関西)5/21

<http://www.sankei-kansai.com/2013/05/21/20130521-065107.php> (-> <http://www.sankei-kansai.com/2013/05/21/20130521-065107.php>)

国交省、航空会社の公的支援案、競合他社からのヒアリングで公平性確保

国交省は航空会社の公的支援に関する指針案をまとめた。競合他社から支援内容の妥当性を聞き取るようにするのが柱。日本航空の公的支援で同業他社から批判が出たことを踏まえ、他社の意見を参考にして公平性を確保する。一方、焦点だった公的支援中の企業による運賃引き下げや新規投資の禁止は盛り込まない方向だ。日経が報じた。

指針案では、公的支援の際に競合他社に加えて業界団体や消費者などからも意見を募ることを求める。多様な意見を吸い上げ、支援が政府の意向のみを反映する内容にならないようにする。

一方、焦点だった運賃の引き下げ禁止や新規投資の凍結といった規制は、指針に盛り込まない方針だ。運賃設定や投資は経営再建の行方を左右するもので、過度に規制すればかえって再建の足を引っ張りかねないと判断した。今後は案件に応じて企業活動の規制が必要かどうかを精査する。

(日経)5/22

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFS2104A_R20C13A5000000/ (->http://www.nikkei.com/article/DGXNASFS2104A_R20C13A5000000/)

国交省、羽田空港、滑走路拡張工事を前倒し、2014年秋完成を目指す

国交省は羽田空港で実施している滑走路拡張工事の完成時期を前倒し2015年3月としていた完成時期を最大で半年早め、14年秋にも利用できるようにする。発着枠が余る深夜に大型機の就航が可能になり、欧米路線の増便につなげる。空港の本格的な「24時間化」へ環境整備を整える。日経が報じた。

拡張工事の対象は3000メートルのC滑走路。現在は騒音の問題で、午後11時から午前6時まで夜間は3000メートルのうち2500メートル分しか利用できず、大型機が就航できない。このため深夜に発着する国際線は20便程度と利用可能な枠の半分にとどまっている。

拡張後の滑走路は3360メートルになり、深夜も3000メートルまで利用可能になる。エアバス社のA380など大型機が就航できるようになり、欧米路線の新規就航の機会が広がる見通しだ。

因みに、仁川空港は午前2～5時の国際線利用者が12年に100万人を超えている。

(日経)5/22

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF2100G_R20C13A5PP8000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF2100G_R20C13A5PP8000/)

(日刊航空)5/22

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0522-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0522-02.pdf>)

仙台空港、民営化に向け、官民会議を新設、PEACH(LCC)も参加

宮城県は仙台空港の民営化に向けて準備作業を本格化させる。31日に空港運営に関心を持つ企業や個人を集めた官民会議を新設、7月から関係者間で具体的な将来像を詰め始める。

県が新設するのは「仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議」。旅客数と貨物取扱量を中長期的に拡大していくとする目標の達成に向け、関係者で協議する。

県は「空港の運営主体が順調に動き出すまで活動する」としており、同会議の参加者の中から新空港の運営主体が決まる公算が大きい。最初の交流会は7月16日に開く予定で、JTBや日本通運、格安航空会社ピーチ・アビエーションが参加する見込み。

(日経)5/22

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB21043_R20C13A5L01000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFB21043_R20C13A5L01000/)

上海空港、2013年4月、航空機乗り入れ数、前年同期比1.85%増

(China Pressによると)

上海浦東国際空港、上海虹橋国際空港を運営している、上海機場が、2013年4月の経営報告を発表した。

報告によると、上海空港2013年4月の航空機乗入数は、2012年同期より1.85%増加し、3万800機(回)となった。内訳は、国内路線乗入数が1万6200機。海外路線乗入数が1万1300機。

4月の乗客乗降数は、2012年同期比1.9%増の384万9000人。内訳は、国内乗客乗降数が195万2200人。海外路線乗入数が147万3900人。

また、4月貨物取扱量は、2012年同期比2.2%減少し、23万9700トンに留まっている。

(China Press)5/21

<http://www.chinapress.jp/pd/36484/> (-> <http://www.chinapress.jp/pd/36484/>)

タイ・エアアジアCEO(LCC)、一部保有株を売却、エアアジアXタイ法人設立

(newsclip.be)5/21

エアアジアのタイ法人タイ・エアアジアに55%出資するタイ証券取引所(SET)上場企業アジア・エイビエーション(AAV)のタサボン最高経営責任者(CEO)が17日、AAV株4.8%を約15億バーツで売却し、AAVへの出資比率を28.2%に引き下げた。タサボン氏は調達した資金を、エアアジアの中長距離路線部門エアアジアXのタイ法人設立とバンコク都内ペップリ通りでのホテル事業に投じるとしている。ホテルは2つ星、3つ星クラスで、主なターゲットは中国人客。

エアアジアXのタイ法人は日本、韓国路線への進出を狙っているもよう。名古屋便を検討しているというわけもある。

(newsclip.be)5/21

http://www.newsclip.be/news/2013521_038157.html (-> http://www.newsclip.be/news/2013521_038157.html)

ジェットスター(LCC)、ボーイング787初号機、9月に受領

ジェットスターはこのほど、ボーイング787型機の初号機を9月に受領すると発表した。現在アメリカで最終組立作業を実施中で、9月に初号機を受領。さらに、今年中に2機を受け取る予定だ。同社によると、オーストラリア、ニュージーランド、アジア太平洋地域でボーイング787を受領するのは同社が初めて。

また、同機は成田、ホノルル、プーケットなど、現在エアバスA330型機で運航している路線に投入する計画で、現在導

入に向け、1億米ドル以上を費やしてパイロットやキャビンクルーの訓練を実施しているという。

(トラベルビジョン)5/21

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57639> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57639>)